

古畑さんのオルガン演奏に見入る奥永さん(右)



## カフェ プレイエル 所蔵 オルガン のこと

明治20年(1877年) 日本初、オルガン第一号が製作される

明治30年(1887年) ヤマハ(日本楽器)創業

明治33年(1890年) ヤマハ ピアノ製造

明治42年(1909年) **YAMAHA HAMAMATSU オルガン No.189955 製造**  
37年間 姫路?

昭和21年(1946年) 上田家 所蔵 神埼郡神埼町栗賀町  
45年間

平成3年(1991年) 奥永家 所蔵 京都市  
18年間

平成21年(2009年) カフェ プレイエル所蔵 松本市波田  
現在に至る

# 大正期以前のオルガンか

大正期以前に製造された  
とみられる古いオルガン  
が、波田町の松本電鉄新  
島々駅に隣接するカフェ  
レイエル&ギャラリーやま  
しろに寄贈された。松本市  
安曇の乗鞍高原に別荘を持  
つ奥永順子さん(左)が京  
都市が、家庭の事情で自宅  
に置けなくなったオルガン  
を託した。保存状態は良好  
で、奥永さんは新天地で再

## 波田の喫茶店に寄贈

び奏でられる重厚な音色を  
「ぜひ多くの人たちに聞い  
てほしい」と願っている。  
オルガンには金色で「Y  
AMAHA ORGAN」と  
「HAMAMATSU」と  
記され、本体にソルの模様  
が施されている。製造元の  
ヤマハ(浜松市)による  
と、鍵盤の上にある「スト  
ップ」という部品の数など  
から、明治末期から大正期  
にかけて存在したモデルと  
推測される。  
奥永さんの夫・健一さん  
(左)が昨年九月にけがで入  
院した。近く退院すること  
になったが、自宅に介護用  
ベッドなどを置くため、オ  
ルガンのスペースがなくな  
った。奥永さんは今年三  
月、カフェレイエルで開  
かれた人形作り教室に参加  
した際、大正期にフランス

## 重厚な音色 催し構想

で製造された古いピアノを  
見て、店主の古畑博子さん  
(右)にオルガンを店に置け  
ないか投げかけたところ、  
快諾された。  
奥永さんは子供のころ、  
教員だった母が弾くオルガ  
ンをきょうだいで囲み、  
「たなはたさま」などの童  
謡を歌ったといい、「機会  
があれば、きょうだいま  
なをここに連れてきたい」  
と喜ぶ。古畑さんは「大切  
にして、クリスマスにオル  
ガンで賛美歌を弾いたり、  
唱歌を歌う催しを開いたり  
したい」と話している。  
(赤羽洋輔)



本番に向けて平和の大切さを訴える劇の練習に励む生徒たち



松本市の高綱中学校2年生が、26日の文化祭に向けて、命の尊さや平和の大切さを訴える劇の練習に励んでいる。松本市波田のギャラリー喫茶にある明治42年製のオルガンが、自分の見てきた歴史を回想するというオリジナルの物語で、戦争の悲惨さなどを表現する。

### 命や平和劇で表現へ

オルガンで賛美歌を歌っていた6人の子供が、戦争で運命を翻ろうされていく様子を描き「本当に大切なもの」を伝える物語だ。もともと兵庫県にあったというオルガンが戦後、松本市にきた経緯も紹介する。戦争と災害の違いはあ

### 高綱中2年生 26日に披露

準備を進めてきた。中沢颯也君(14)は「2年生100人で力を合わせて、戦争について伝えられたら」と話している。劇は26日午前中、松本市にきた経緯も紹介して平和学習に取り組んだ。

(片岡 望)



市民タイムス  
2014年9月24日

カフェ所蔵のリードオルガンが主人公になった舞台です。